LG
Life's Good

オーナーマニュアル
ドームカメラ

本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みのうえ、後から参照できるように保管してください。

モデル
LCP3750Tシリーズ
LCP3750シリーズ

MFL66281626

1 安全に関する情報

注意：感電の危険性をなくすために
カバーまたは後部を外さないでください。
ユーザーが修理できる部品が含まれていません。
修理の場合は有資格者を訪ねてください。

正三角形に囲まれた稲妻形矢印のマークは、機器内部に絶縁されていない電圧が存在し、感電の危険があることを警告するものです。

正三角形に囲まれた感嘆符のマークは、本製品に付属する冊子中にある、操作上あるいは整備（修理）上の重要事項を示すものです。

FCC警告：本機器は無線周波数エネルギーを発生、または利用する場合があります。取扱説明書に明確に指定された場合を除き、本機器への変更または調整は有害な混信を起こす恐れがあります。不正な変更や調整を行なった場合は、当該のユーザーが本機器を操作する資格を失う結果になりかねません。

規制情報：FCC 15部

本機器は、FCC規則第15部に従って、検査を受け、Ａ級デジタル装置に適用する規制を遵守しているという結果です。この規制は、本機器が商業環境で使用される場合に、有害な混信に対する正当な保護を提供するために定められました。本機器は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することができるので、取扱説明書に従って取り付け、使用しなければ、無線通信への有害な混信を起こす恐れがあります。本機器を住宅地で利用すれば、有害な混信を起こす可能性があるが、この場合は、ユーザーはその有害な混信を自己負担で修正する責任があります。

- エンドユーザーには、本機器のケーブル導入口に、適切なコンジット導入口、ノックアウト、またはグランドが提供されるべきです。
- 危険：バッテリを不適切に取り換えると、爆発の危険があります。製造業者が指定するバッテリの種類、あるいはそれに相当するもののみで取り換えるべきです。バッテリの廃棄の際にも製造業者の指示に従うべきです。
- 絶縁電線を通すために金属に開かれた孔の縁は、湾曲した、スムーズな表面でなければなりません。

注意：本機を本棚などの狭い場所に設置しないでください。

注意：配線方式は電気工事基準ANSI/NFPA 70に従うものでなければなりません。

注意：本機器はＡ級の製品です。家庭環境で使用すれば、無線妨害を起こす恐れがあり、そしてこの場合にはユーザーは処置を取るように求められる結果になりかねません。

注意：火災や感電の危険性を減らすために、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

危険：本機器を取り付ける際には、必ず有資格者に委託し、また当地の適用する基準を満たさなければなりません。

危険：キャビネットを開けると、感電の危険があります。修理の際に、有資格者のみを訪ねなければなりません。

危険：本機器を水（滴る水、飛び散る水など）にさらしたり、また花瓶など、水の入った容器を本機器の近くに置いたりしてはいけません。

この装置は、クラスＡ 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。ＶＣＣＩ-A

重要な安全上の注意

1. この注意事項を読んでください。
2. この注意事項を保管してください。
3. 全ての警告事項を注意してください。
4. 全ての注意事項に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. 本機を拭くには、乾いた布巾のみを使用してください。
7. 換気孔を塞げないでください。取り付けの際に、製造業者の指示に従ってください。
8. 本機を、ラジエータ、ヒーター、ストーブ、または熱を発生するその他の機器(アンプを含む)などの熱源の近くに取り付けないでください。
9. 二極式あるいは接地プラグの安全保護作用を防止しないでください。二極式プラグは異なる幅の2つの刃が付いています。接地プラグは2つの刃と接地のためのもう1つの差し込み先が付いています。3つ目の差し込み先の幅は安全を確保するためです。提供されたプラグはコンセントに差し込めなければ、電気技師に連絡し、旧式コンセントを交換してください。
10. 電源コードが、特にプラグの所、便利用コンセントの所、また機器から出た所で踏まれたり、突かれたりしないように保護してください。
11. 製造業者が指定した付属品のみを使用してください。
12. 製造業者が指定した、あるいは購入時に本機器とともに提供されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、台のみを使用してください。カートを使用する場合には、横転によるけがを防ぐために本機器を載せたカートを運ぶ時に十分に気をつけてください。

13. 雷雨、または長期間に使用しない場合には、本機器のプラグを抜いてください。
14. 修理の場合は有資格者を訪ねてください。修理は、例えば、本機の電源コードまたはプラグが損傷された場合、本機に液体がこぼされたまたは物が落とされた場合、本機が雨または湿気にさらされた場合、正常に動作しないまたは落とされた場合など、本機がいかなる方法で損傷を受けた場合に必要です。

安全事項

- 本カメラを分解しないでください
  感電を防止するために、ネジやカバーを取り外さないでください。機内にユーザーが修理できる部品が含まれていません。修理の際に、資格を有する技術者に依頼してください。
- カメラを直射日光にさらさないでください
  カメラを発光体に向けないでください。カメラが作動中であるかどうかに関わらず、直射日光、また非常に明るい対象に向けないでください。ブルーミングやスミアが発生する恐れがあります。
- カメラを慎重に扱ってください
  カメラを乱用しないでください。カメラをぶつけたり、強く揺れ動かしたりしないように注意してください。不適切な扱いや保管の原因でカメラが損傷を受ける恐れがあります。
- 強力な溶剤や洗剤を使用しないでください
  カメラが汚れた時には、乾いた布巾を使用してください。カメラの汚れが取りにくければ、中性洗剤を使用し、そしてやさしく拭いてください。
- 本カメラを逆さまに取り付けないでください
  本カメラは、天井または壁に取り付けるように設計されています。逆さまで、例えば床などに取り付ければ、故障が起きる恐れがあります。
- 下記のような場所では、カメラを使用しないでください。以下の状況で使用した場合、レンズが結露によって曇ることがあります。
  - › エアコンのオン、オフ切換による急激な温度変動の部屋。
  - › 頻繁なドアの開閉による急激な温度変動の部屋。
  - › 眼鏡が曇るような環境。
  - › 煙草の煙やほこりが充満した部屋。

  レンズが結露で曇った場合には、ドームカバーを外し、柔らかい布で水分を完全に拭き取ってください。

- 作動の前に、温度、湿度、電源定格が適切であるかどうか確認してください。カメラは、温度-20℃ から 50℃、湿度80%未満の条件で使用してください。入力電源は、AC 24V です。
- カメラ内蔵の冷却ファン、レンズドライブモータなど、作動中に接触点のある部品は時間とともに消耗していくものです。このような部品の交換とメンテナンスについては、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

カメラの取り付け場所

カメラを購入した店舗に、取り付け場所を相談し、そして取り付けに十分に堅固な場所を決めてください。

- カメラを取り付ける際に、天井（コンクリートなど）に、また取り付けに十分に堅固な所に取り付けるべきです。
- カメラの本体を、建物の基礎部分または支圧強度が十分な所に取り付けてください。

以下の場所には、カメラを絶対に取り付けないでください

- 直射日光や雨にさらされた場所。
- エアコンの空気出口の近く。
- プールまたは化学薬品が使用されるその他の場所の近く。
- 調理場、またそれと同様に蒸気や油が多く存在する場所、引火性の高い環境などの特殊な環境。
- 放射線、X線、強力な電波、磁場が発生される場所。
- 海、沿岸地域、または腐食性ガスが発生する場所。
- 許容動作周囲温度を超えた場所。

静電気除去について

カメラを取り付ける前に、手で金属製のケースや部品などに触れ、身体から静電気を除去してください。
湿気や埃の多い場所に取り付けないでください。
このような環境で取り付ければ、内蔵部品が損傷しやすくなったり、故障が起こりやすくなったりする恐れがあります。
電源線の近くにケーブルを敷設しないでください。

ネジの締め付け

取り付け場所の材質と構造に応じて、ネジを十分に締めつけるべきです。ネジを締めつけた後、水平性や平行性、また各ネジがしっかりと締まっていることを目で確かめてください。

目次

1 安全に関する情報

4 重要な安全上の注意
4 安全事項

2 準備

8 はじめに
8 特徴
9 付属品
10 部品名および機能

3 取り付け

11 接続
11 注意事項
11 基本的な接続の概要
12 ディスプレイ装置の接続
12 アラーム入力の接続
14 アラーム出力の接続
15 LKD1000コントローラの接続
15 RS-485機器の接続
16 電源の接続
16 プロトコルとボーレートの設定
17 カメラIDの設定
20 保護テープを剥がす
21 カメラの取り付け
21 壁での取り付け（オプション）
23 吊り下げ取り付け（オプション）

4 操作

27 設定メニューの概要
31 メニューナビゲーション
31 カメラの設定メニューへのアクセス
31 一般的な操作
32 カメラメニューの設定
32 フォーカスの設定
32 露出の設定
33 ホワイトバランスの設定
34 昼/夜設定
34 3D-DNR設定
35 カラーの設定
35 鮮明さの設定
35 手振れ防止機構の設定
35 パン/チルトの設定
35 事前設定の設定
37 グループツアーの設定
37 パターンの設定
38 オートパンの設定

38 プライバシーマスクの設定
39 スペシャル設定
41 オートトラッキングの設定 (オプション)
43 OSD 設定
43 ユーザータイトルの設定
43 ズームMAGの設定
43 機能の設定
44 ドームIDの設定
44 言語の設定
44 アラームの設定
44 アラームインの設定
45 アラームアウトの設定
45 設定のリセット
45 情報
45 初期化
45 カメラのリセット
45 工場出荷時設定へのリセット

5 付録

46 仕様

2 準備

はじめに

本ドームカメラは屋外ビデオ監視システム中に取り付けるよう設計されています。
本カメラは、内蔵のデジタル・シグナル・プロセッサ、パン/チルトの仕組み、ズームレンズ、およびRS-485通信インターフェイスを特徴とする、屋外使用向けの小型の機器です。

特徴

- 高感度サポート

  本カメラは、4.5mm (1/4型) のスパーHAD II CCDが使用可能で、高画質の画像を撮ることができます。
- 事前設定位置

  事前設定位置とは、カメラが監視する位置（事前設定位置）を登録する機能です。LKD1000コントローラを使用することによって、事前設定事項を番号で登録することができます。事前設定位置を256個まで使用可能です。位置番号を入力することによって、カメラを事前設定位置に移動させることができます。移動速度と停留時間は調整可能です。
- 事前設定ツアー

  事前設定ツアーとは、カメラを、 登録された全ての監視の位置 （事前設定位置）に渡らせる機能です。事前設定ツアーの動作中に、
  フォーカスを-20℃で適切に操作することができないことがあります。
- グループツアー

  オペレータが連動させ、シーケンスとして作動させるように設定できる事前設定事項、パターン、オートパンのグループです。グループツアーを10個まで使用することができます。
- パターン記録機能

  複数の手動操作の手順を記録し、その後、繰り返して再生することができます。 パン、チルト、ズームの操作をパターン記録機能で記録することができます。

! 注記

パターンに利用可能な合計時間はカメラの操作によって異なります。パターンの記録が満了になれば、記録が自動的に停止します。

- プライバシーマスク

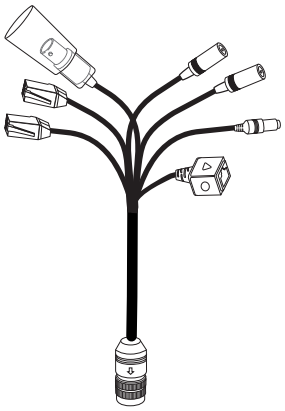
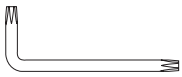
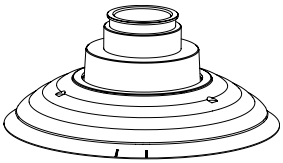
  プライバシーゾーン機能を使用することによって、特定のゾーンを隠すことができます。この設定では、隠したいゾーンがモニターに表示されないように設定することができます。このようなゾーンを8個まで登録することができます。
- オートパン

  本カメラは、事前に設定された対象区域で発生するあらゆる出来事を監視するためのオートパン機能が装備されています。オートパンでは、カメラが設定された8つ以下の位置の間に移動し、監視を行ないます。移動速度と停留時間は調整可能です。
- オートフリップ

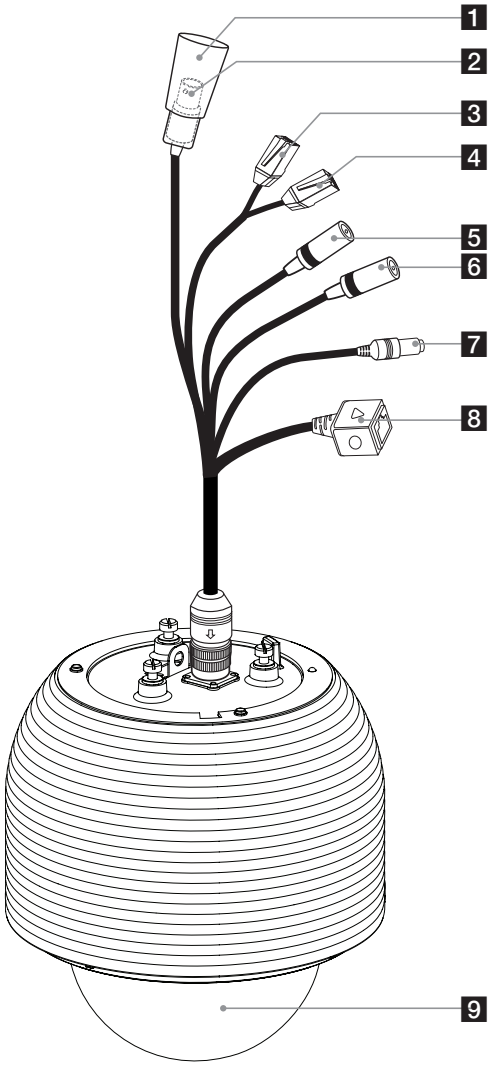
  カメラが90度を超えるように操作されると、180度の水平方向のオートフリップによって、対象区域の向こう側を監視することができます。
- 光学ズーム
  - 光学ズームの範囲は1x から 37xです。

- デジタルズーム
  デジタルズームでは、システムのズームの範囲を、光学ズームの限界の12倍まで増加させることができます。システムの総ズーム範囲は以下の通りです。
  - 37x (1x デジタルズーム) から 444x (12x デジタルズーム)
- アラームイン機能 (4チャンネル)
  アラーム入力信号は、外部の装置からALARM INコネクタを通して送信されます。
- アラームアウト機能 (2チャンネル)
  カメラは、アラーム入力コネクタで、アラーム入力信号が受信された後、アラーム出力コネクタを通して出力信号を送信します。
- 一般的なコントローラによる操作
  本カメラはRS-485で操作することができます。本カメラは特に、一般的な接触点信号で操作することができるので、コスト削減の面で著しい効果を生み出しています。
- 256個のカメラとの接続可能
  本カメラは、256個のカメラと接続し、使用することができます。従って、大規模な建物や百貨店での使用に向いています。
- 昼・夜機能
  本カメラを動作する際にカラーまたは白黒を選択することができます。低照度のため、昼はカラーを設定することができるが、夜は白黒を設定する方が望ましいです。（フィルター変換型）
- DSS(デジタルスローシャッター)機能
  DSS(デジタルスローシャッター)機能のおかげで、精密な監視を行なうことができます。
- WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能
  本カメラは、強いバックライトでズームイン、ズームアウトし、監視を行なえるように調整することができます。
- 電源
  本カメラは、常にAC24Vで動作するべきです。アダプタはUPSに従うものでなければなりません。

付属品

カメラのメインケーブル	
RJ-45アダプタケーブル	
レンチ	
パイプ取り付けブラケット	
安全ケーブル	

部品名および機能



1 BNCコネクタキャップ

2 ビデオ出力BNCコネクタ

接続された機器にアナログビデオ信号（複合）を送信します。

3 データポートA (RJ-45)

RS-485データ通信、およびアラーム（リレー）信号のための入力データポート。

4 データポートB (RJ-45)

アラーム（リレー）信号のための出力データポート。

5 このポートは使用されません。

6 このポートは使用されません。

7 電源入力端子

適切なケーブルでAC24V電源に接続します。

8 このポートは使用されません。

9 ドームカバー

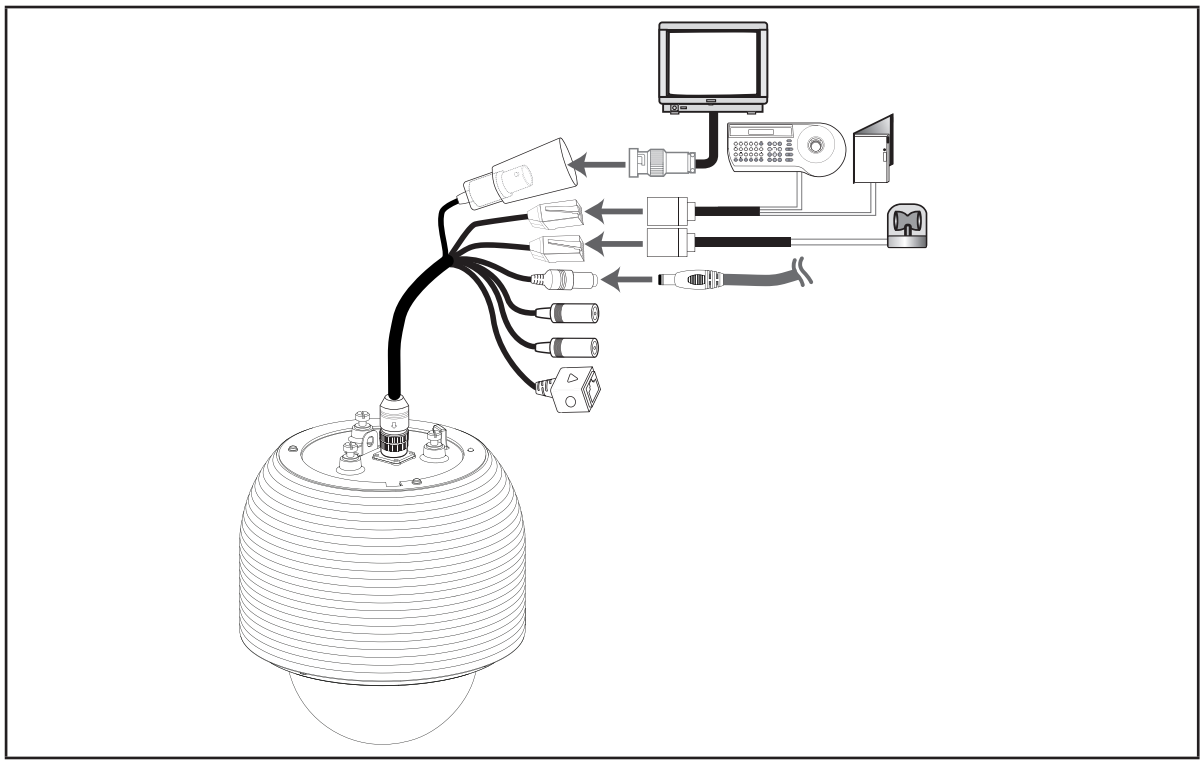
3
取り付け

接続

注意事項

- 下記の取り付けと接続の作業は、資格のある技術者、またはシステム取付業者に依頼するべき、また当地の適用する基準を満たすべきです。
- カメラを取り付け、接続する前に、まず、必要な周辺機器とケーブルをチェックし、用意しておいてください。
- カメラを接続する前に、このカメラやDVRなど、接続される全ての機器の電源を切っておいてください。
- ドームカバーのウィンドウを触らないでください。

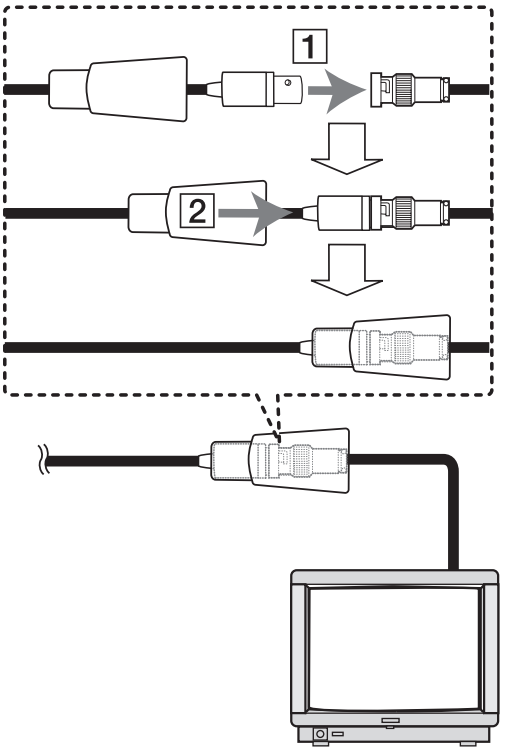
基本的な接続の概要



ディスプレイ装置の接続

カメラとモニタ間のビデオ信号の接続。

ディスプレイ装置の接続



アラーム入力の接続

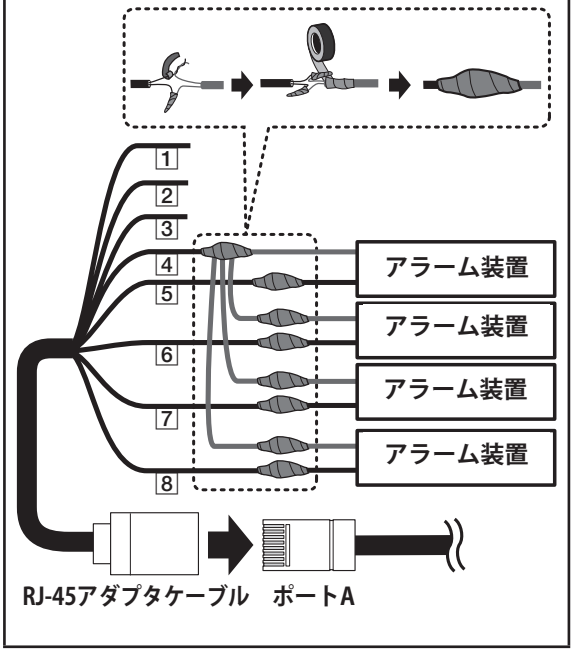
カメラに多くとも4個のアラームセンサーを接続することができます。各アラームセンサーがアラームIN COMと接続されている必要があります。設定メニューでは、信号の状態を、NO (normally open「通常に開いている」) または NC (normally closed「通常に閉じている」)に調整することができます。

1. RJ-45アダプタケーブルをカメラのポートA(RJ-45)のケーブルに接続してください。
2. アラーム装置をRJ-45アダプタケーブルに接続してください。線を接続する際に、各機器の線の色をチェックしながら適切に接続してください。線の色の説明については下記の表を参考してください。

⚠ 注記

カメラの複数のアラーム入力コネクタに1つのアラームセンサーを接続しないでください。

アラーム入力の接続



RJ-45アダプタケーブル		
番号	**詳細**	**色**
1	RS-485 +	白
2	RS-485 -	オレンジ
3	NC	黒
4	ALARM IN COM	赤
5	ALARM IN 1	緑
6	ALARM IN 2	黄色
7	ALARM IN 3	青
8	ALARM IN 4	茶色

ポートA	
詳細	**色**
RS-485 +	緑
RS-485 -	青
NC	
ALARM IN COM	黄色
ALARM IN 1	バラ色
ALARM IN 2	灰色
ALARM IN 3	白
ALARM IN 4	紫

アラーム入力機能

この高速ドームカメラは、アラーム信号を感知できるターミナルがあります。例えば、ドア、窓、金庫などに取り付けられたアラームセンサーは、接触や衝撃を感知すれば、速やかにカメラにアラーム信号を送り、そしてカメラは接触や衝撃が感知された所を撮影します。

監視位置を、接触や衝撃を感知したセンサーの位置に切り替え、そして以前の監視位置に戻すことができます。(アラーム入力機能の継続時間を"3 から 255"に設定)

機能の状態	モード
特定の位置の監視中に	監視位置を、アラームが発した位置に切り替え、そして以前の監視位置に戻します。
事前設定ツアーの動作中に	事前設定ツアーを停止し、監視位置をアラームが発した位置に切り替えます。そして、事前設定ツアーを再開します。
オートパンの動作中に	オートパンを停止し、監視位置をアラームが発した位置に切り替えます。そして、オートパンを再開します。
パターン機能の動作中に	パターン機能を停止し、監視位置を、ドウェル時間にアラームが発した位置に切り替えます。そして、パターン機能を再開します。
「ホーム位置」がオンになっている場合に	アラームに応答した後、またドウェル時間が満了した後、カメラはホーム位置に戻り、そしてそこでドウェル時間を過ごします。

注記

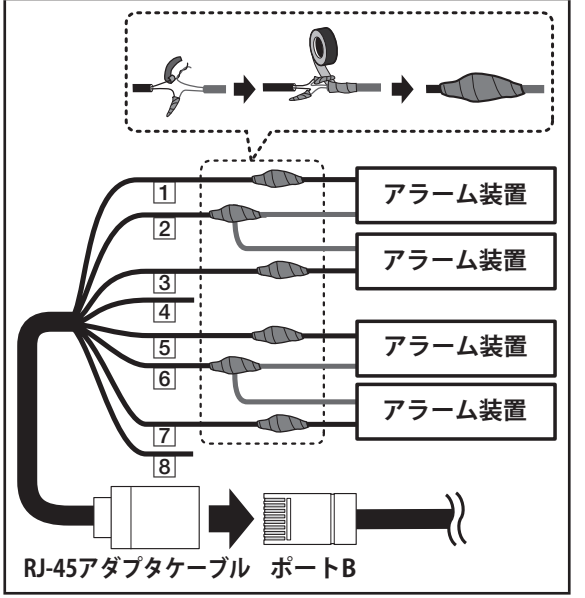
カメラの複数のアラーム入力コネクタに1つのアラームセンサーを接続しないでください。

アラーム出力の接続

アラーム装置をアラーム出力データポートに接続します。イベントの発生時にアラーム信号が出力されます。アラーム出力をnormal open（通常に開いている）モードまたはnormal closed（通常に閉じている)モードに設定することができます。

1. RJ-45アダプタケーブルをカメラのポートB(RJ-45)のケーブルに接続します。
2. アラーム装置をRJ-45アダプタケーブルに接続してください。線を接続する際に、各機器の線の色をチェックしながら適切に接続します。線の色の説明については下記の表を参考してください。

アラームアウトの接続



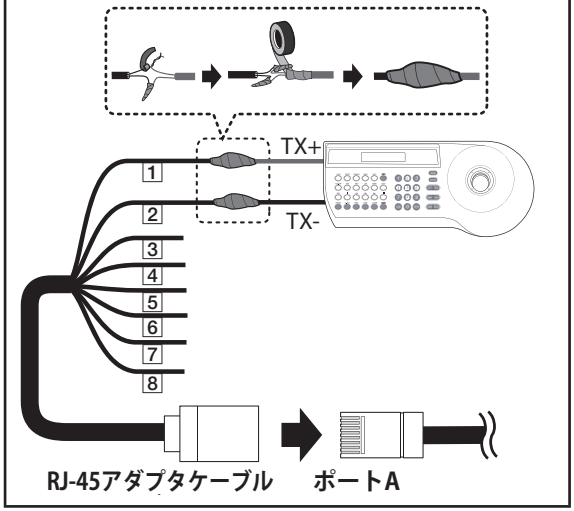
RJ-45アダプタケーブル		
番号	**詳細**	**色**
1	ALARM OUT [NO1]	白
2	ALARM OUT [COM1]	オレンジ
3	ALARM OUT [NC1]	黒
4	NC	赤
5	ALARM OUT [NO2]	緑
6	ALARM OUT [COM2]	黄色
7	ALARM OUT [NC2]	青
8	NC	茶色

ポートB	
詳細	**色**
ALARM OUT [NO1]	白青
ALARM OUT [COM1]	ベージュ
ALARM OUT [NC1]	黒
NC	
ALARM OUT [NO2]	茶色
ALARM OUT [COM2]	赤
ALARM OUT [NC2]	オレンジ
NC	

LKD1000コントローラの接続

1. RJ-45アダプタケーブルをカメラのポートA(RJ-45)のケーブルに接続します。
2. LKD1000コントローラをRJ-45アダプタケーブルに接続します。(さらに詳しくは、LKD1000コントローラのマニュアルを参考してください)。

LKD1000の接続



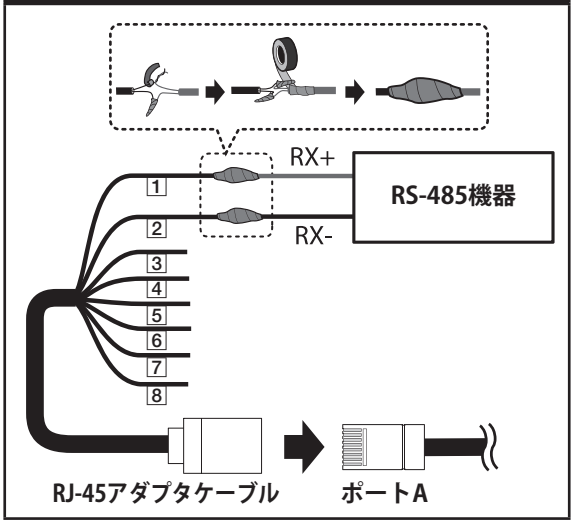
RJ-45アダプタケーブル		
番号	**詳細**	**色**
1	RS-485 +	白
2	RS-485 -	オレンジ

RS-485機器の接続

RS-485サイト通信には以下特徴を持つケーブルを使用してください。

- シールド付きツイストペアケーブル
- 低インピーダンス
- ワイヤーゲージサイズはAWG #22 (0.33 mm^2)より厚い

RS-485の接続



1. RJ-45アダプタケーブルをカメラのポートA(RJ-45)のケーブルに接続します。
2. RS-485機器をRJ-45アダプタケーブルに接続します。線を接続する際に、RJ-45アダプタケーブルの「オレンジ色の線」をRS-485ユニットの「RX-」に、RJ-45アダプタケーブルの「白い線」をRS-485ユニットの「RX+」に正しく接続してください。

RJ-45アダプタケーブル		
番号	**詳細**	**色**
1	RS-485 +	白
2	RS-485 -	オレンジ

ポートA	
詳細	**色**
RS-485 +	緑
RS-485 -	青

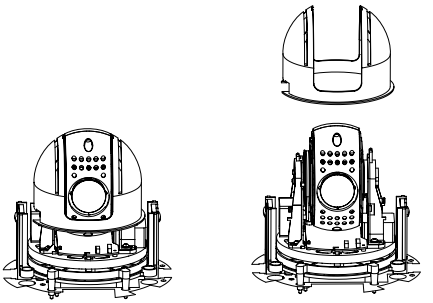
電源の接続

AC24V電源を電源入力端子に接続します。

プロトコルとボーレートの設定

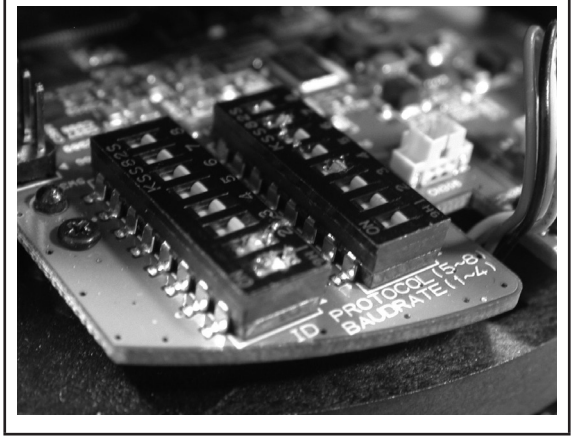
カメラは、データ通信のプロトコルとボーレートを決定するための8ビットDIPスイッチブロックを1つ装備しています。カメラの設定は起動する時に読み込まれます。必ずカメラをオフにし、そしてDIPスイッチの設定を変更した後、変更を読み込むためにカメラを再びオンにしてください。

1. カメラをオフにします。
2. ドームを取り外します。
3. カメラのアセンブリカバーを取り外します。



4. DIPスイッチを設定します。

DIP スイッチの位置

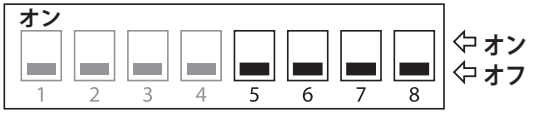


5. ドームカバーとカメラのアセンブリカバーを逆順番で組み立てます。
6. カメラを再び起動し、変更を読み込ませます。

ボーレートの設定

DIPスイッチの位置				ボーレート (BPS)
SW1	SW2	SW3	SW4	
オフ	オフ	オフ	オフ	9 600
オフ	オフ	オフ	オン	2 400
オフ	オフ	オン	オフ	4 800
オフ	オン	オフ	オフ	19 200
オン	オフ	オフ	オフ	38 400
オン	オン	オン	オン	OSDセット

プロトコルの設定



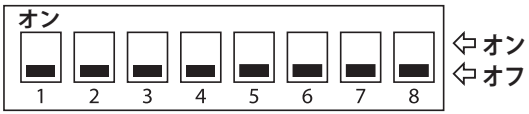
DIPスイッチの位置				プロトコル
SW5	SW6	SW7	SW8	
オフ	オフ	オフ	オフ	LG Multix
オフ	オン	オフ	オフ	Pelco C
オフ	オフ	オフ	オン	Pelco D
オフ	オフ	オン	オフ	Pelco P
オン	オン	オン	オン	OSDの設定

注記

LG Multixプロトコルを持つコントローラを使用していない場合、機能の制御に制限があることがあります。

カメラIDの設定

工場出荷時のデフォルトとして、カメラのIDは「0」に設定されています。なお、同時に2つ以上のカメラを使用する場合、カメラのIDを変更してください。カメラのIDを設定する際に、以下の写真と表を参考してください。



ID	DIPスイッチの位置							
	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6	SW7	SW8
0	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
1	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
2	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
3	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
4	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
5	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
6	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
7	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
8	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
9	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
10	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
11	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
12	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
13	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
14	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
15	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
16	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
17	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
18	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
19	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
20	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
21	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
22	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
23	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ
24	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ
25	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ
26	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ
27	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ
28	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
29	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
30	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
31	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ
32	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
33	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
34	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
35	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
36	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
37	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
38	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
39	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ
40	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ
41	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ
42	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ
43	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ
44	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ
45	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ
46	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ
47	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ
48	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ
49	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ
50	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ
51	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ
52	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ
53	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ
54	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ
55	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ
56	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ
57	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ
58	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ
59	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ
60	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ
61	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ
62	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ
63	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ
64	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
65	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
66	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ

67	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
68	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
69	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
70	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
71	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ
72	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ
73	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ
74	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ
75	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ
76	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ
77	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ
78	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ
79	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ
80	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ
81	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ
82	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ
83	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ
84	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ
85	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ
86	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ
87	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ
88	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ
89	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ
90	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ
91	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ
92	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
93	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
94	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
95	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ
96	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ
97	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ
98	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ
99	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ
100	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ
101	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ
102	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ
103	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ
104	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ
105	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ

106	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ
107	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ
108	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ
109	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ
110	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ
111	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ
112	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ
113	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ
114	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ
115	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ
116	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ
117	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ
118	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ
119	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ
120	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ
121	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ
122	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ
123	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ
124	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オフ
125	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オフ
126	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オフ
127	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オフ
128	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
129	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
130	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
131	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
132	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
133	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
134	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
135	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン
136	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン
137	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン
138	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン
139	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン
140	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン
141	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン
142	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン
143	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン
144	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン

145	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン
146	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン
147	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン
148	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン
149	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン
150	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン
151	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン
152	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン
153	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン
154	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン
155	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン
156	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン
157	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン
158	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン
159	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン
160	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン
161	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン
162	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン
163	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン
164	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン
165	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン
166	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン
167	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン
168	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン
169	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン
170	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン
171	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン
172	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン
173	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン
174	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン
175	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン
176	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン
177	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン
178	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン
179	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン
180	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン
181	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン
182	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン
183	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン

184	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン
185	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン
186	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン
187	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン
188	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オン
189	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オン
190	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オン
191	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オン
192	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン
193	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン
194	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン
195	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン
196	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン
197	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン
198	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン
199	オン	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン
200	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン
201	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン
202	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン
203	オン	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン
204	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン
205	オン	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン
206	オフ	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン
207	オン	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン
208	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン
209	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン
210	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン
211	オン	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン
212	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン
213	オン	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン
214	オフ	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン
215	オン	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン
216	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン
217	オン	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン
218	オフ	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン
219	オン	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン
220	オフ	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オン
221	オン	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オン
222	オフ	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オン

223	オン	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オン
224	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
225	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
226	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
227	オン	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
228	オフ	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン
229	オン	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン
230	オフ	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン
231	オン	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン
232	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン
233	オン	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン
234	オフ	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン
235	オン	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン
236	オフ	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オン
237	オン	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オン
238	オフ	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オン
239	オン	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オン
240	オフ	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン
241	オン	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン
242	オフ	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン
243	オン	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン
244	オフ	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オン
245	オン	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オン
246	オフ	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オン
247	オン	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オン
248	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オン
249	オン	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オン
250	オフ	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オン
251	オン	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オン
252	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オン
253	オン	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オン
254	オフ	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン
255	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン	オン

保護テープを剥がす

カメラを取り付ける前に保護テープを剥がす必要があります。
保護テープを慎重に剥がしてください。

1. レンチでネジを緩め、ドームカバーを取り外します。
2. 保護テープを剥がし、ドームカバーを取り付けます。

⚠ 注記

開けたり、締めたりするためにドームカバーを回す時に、OPENおよびLOCKのマークを正しく整列するべきです。
マークを整列しないと、故障の原因になります。

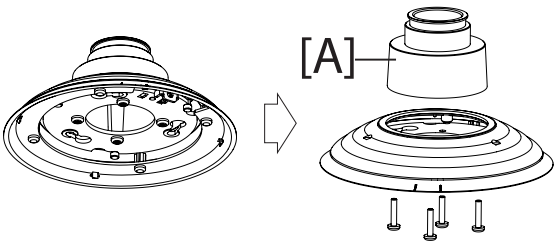
カメラの取り付け

カメラを天井または壁に取り付けることができます。

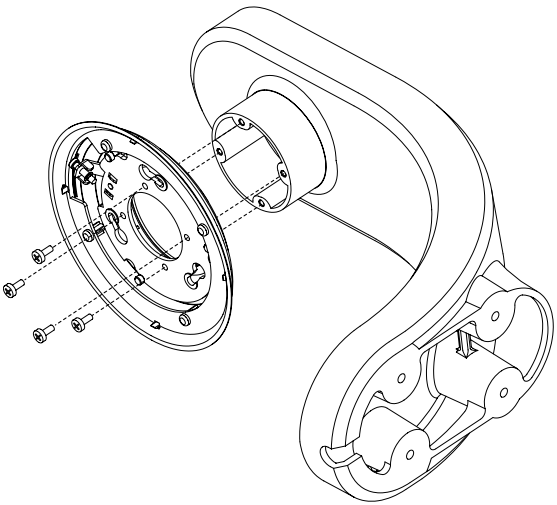
壁での取り付け（オプション）

以下の順番に従ってカメラを取り付けてください。

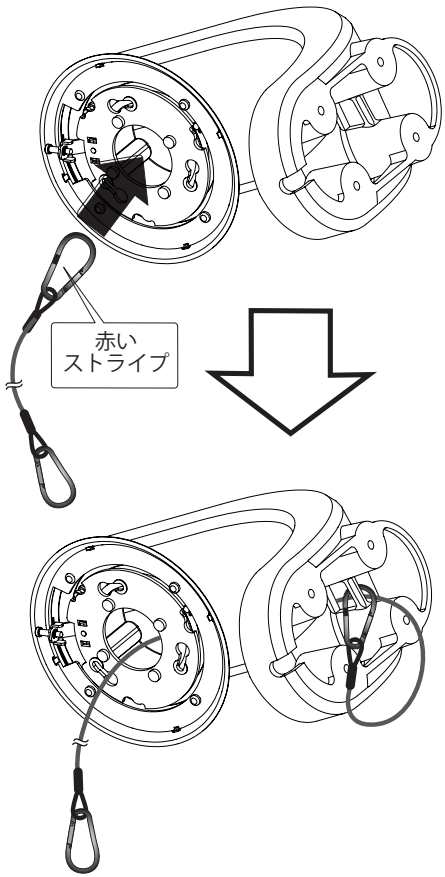
1. パイプ取り付けブラケットを分解し、[A]の部分を取り外します。



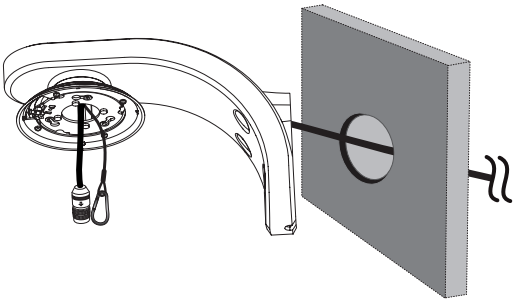
2. パイプ取り付けブラケットを、ウォール・マウント・アセンブリに取り付けます。



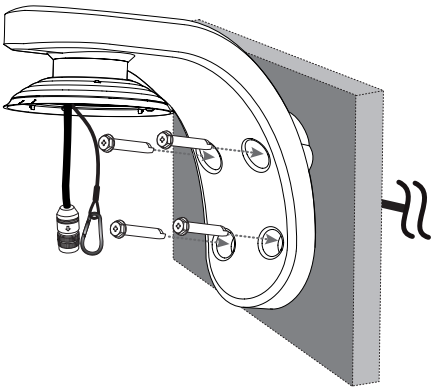
3. 安全ケーブルをウォール・マウント・アセンブリに取り付けます。



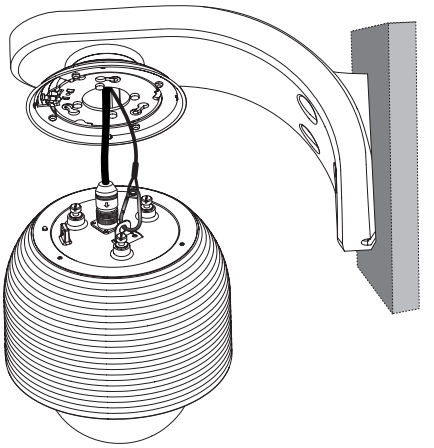
4. パイプを取り付けたい所にドリルで壁に孔を開けます。接続ケーブルをウォール・マウント・アセンブリに通し、吊り下がる状態にします。



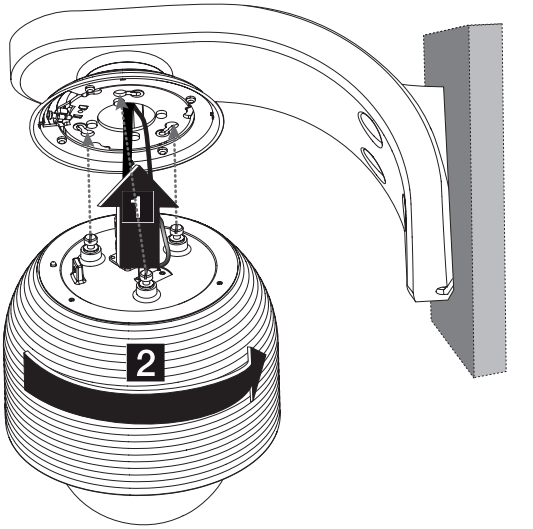
5. ウォール・マウント・アセンブリを取り付けます。



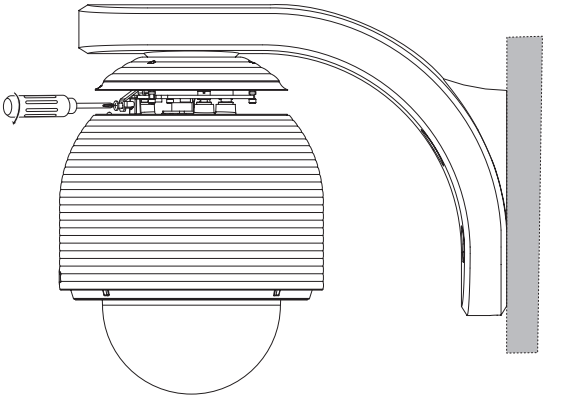
6. 接続ケーブルと安全ケーブルをカメラ本体に接続します。



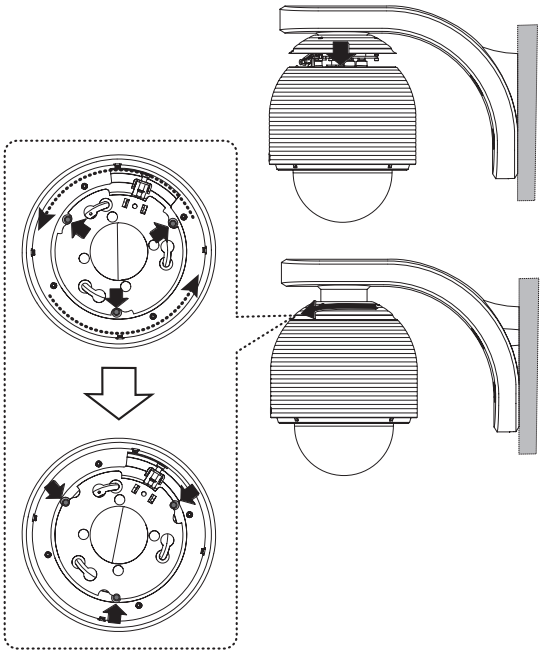
7. ステップ**1**と**2**に従ってカメラをカメラ・アセンブリ・ブラケットに取り付けます。ウォール・マウント・アセンブリとカメラの本体の固定ポイントを整列させます。



8. 止めネジを締めます。

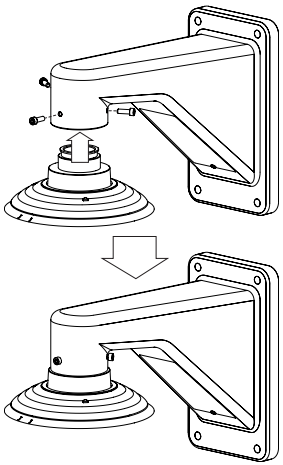


9. 下図に示されるようにカメラカのバーを組み立てます。



注記

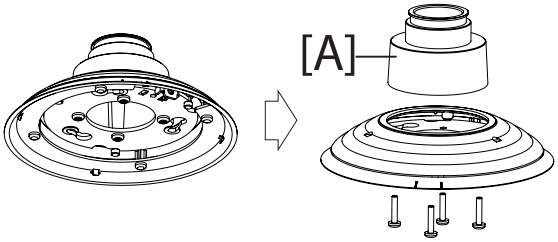
パイプ取り付けブラケットは、LGの他のタイプのウォール・マウント・アセンブリに直接に取り付けることもできます。このLGウォール・マウント・アセンブリによって、カメラの取り付けは簡単になります。



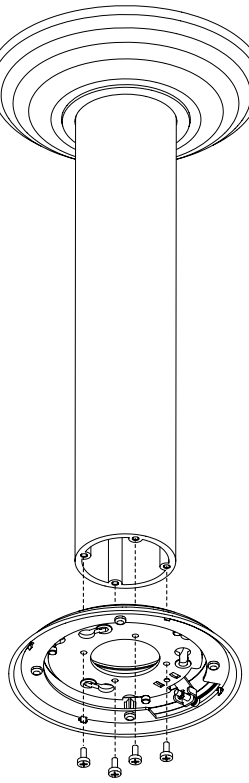
吊り下げ取り付け（オプション）

以下の順番に従ってカメラを取り付けてください。

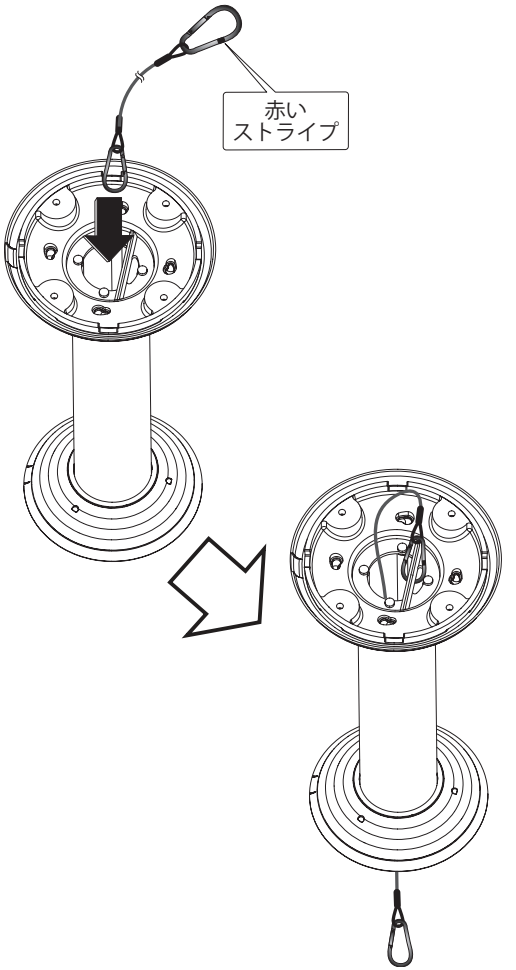
1. パイプ取り付けブラケットを分解し、[A]の部分を取り外します。



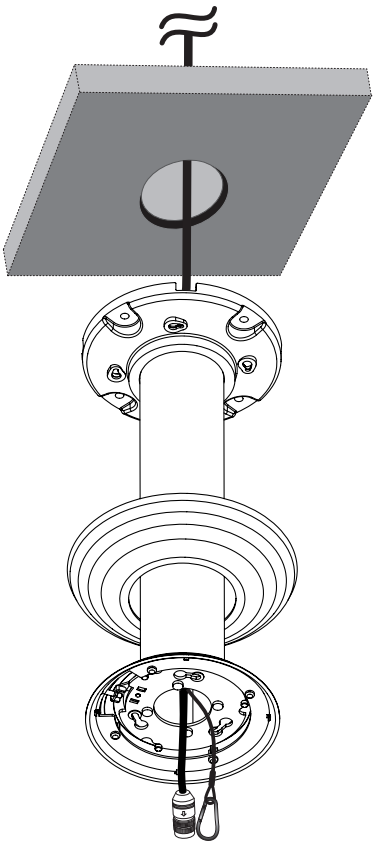
2. パイプ取り付けブラケットを、ペンダント・マウント・アセンブリに取り付けます。



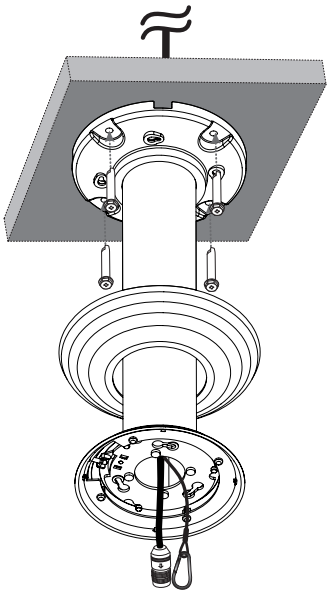
3. 安全ケーブルをペンダント・マウント・アセンブリに取り付けます。



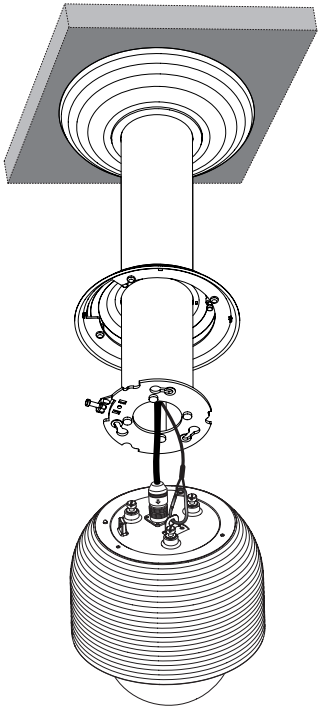
4. パイプを取り付けたい所にドリルで壁に孔を開けます。吊り下げ取り付け部品に接続ケーブルを通し、下に垂らします。



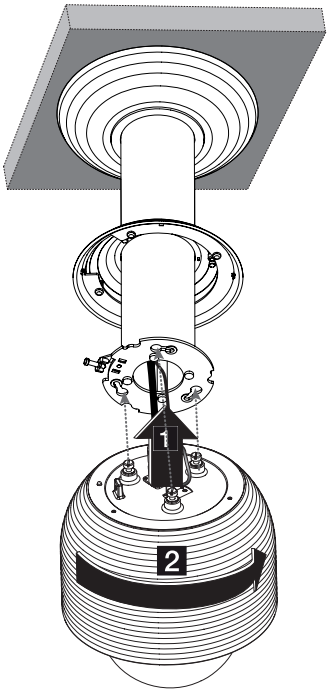
5. 吊り下げ取り付け部品を設置します。



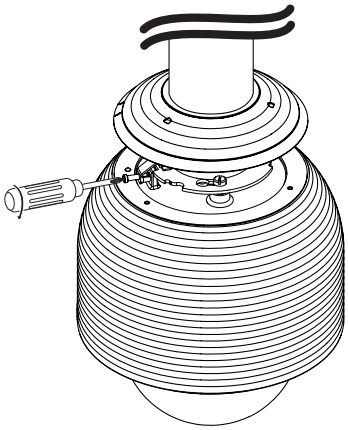
6. 接続ケーブルと安全ケーブルをカメラ本体に接続します。



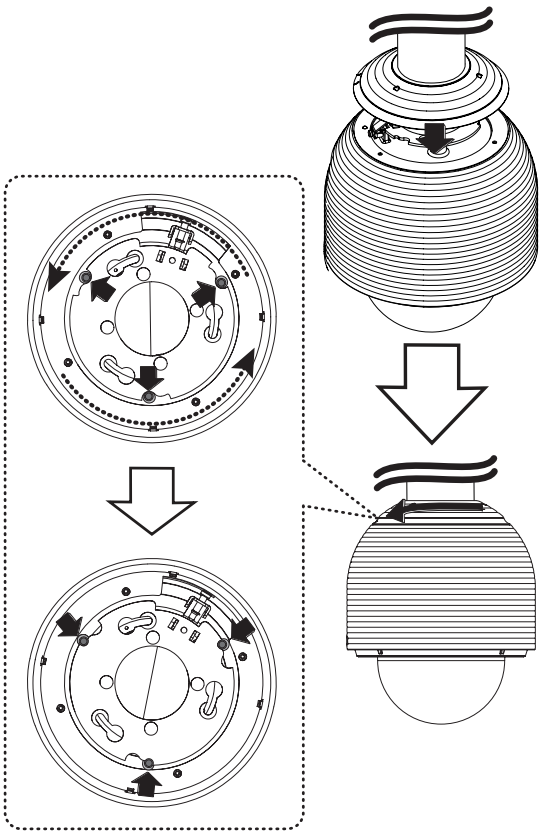
7. ステップ**1**と**2**に従ってカメラをカメラ・アセンブリ・ブラケットに取り付けます。ウォール・マウント・アセンブリとカメラの本体の固定ポイントを整列させます。



8. 止めネジを締めます。

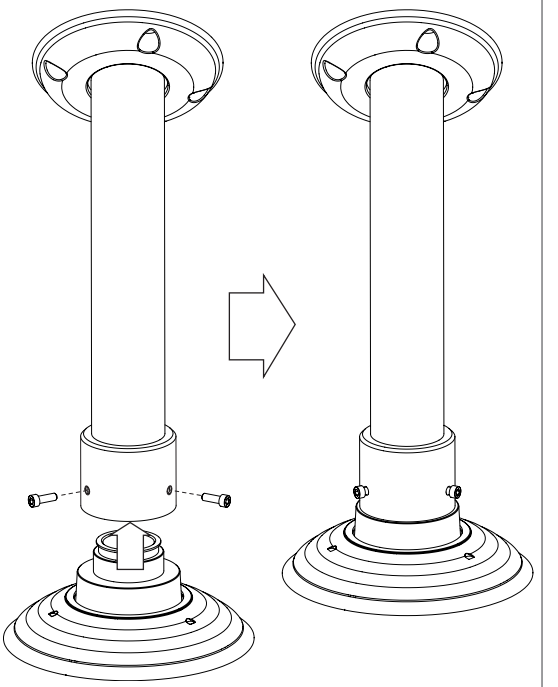


9. 下図に示されるようにカメラカのバーを組み立てます。



注記

パイプ取り付けブラケットは、LGの他のタイプのウォール・マウント・アセンブリに直接に取り付けることもできます。このLGウォール・マウント・アセンブリによって、カメラの取り付けは簡単になります。



4
操作

設定メニューの概要

次の表はメニュー項目とオプションを示します。以下の各メニューの項目を設定することによって、カメラを自分のニーズに合わせて構成することができます。

第1段	第2段	第3段	目次	
CAMERA SET	FOCUS	FOCUS MODE	AUTO/MANUAL/ONE PUSH/ZOOM TRIG	
		FOCUS DIST	1 M、3 M、6 M	
		ZOOM START	x1 から x36	
		ZOOM END	x2 から x444	
		RETURN	-	
	EXPOSURE	IRIS	AUTO/MANUAL	
		AGC	OFF、1 から 10	
		WDR/BLC	OFF/WDR/BLC/HSBLC	
		BRIGHTNESS	0 から 100	
		SHUTTER	OFF、A.FLK、1/160、...、X2、AUTO	
		SENS-UP	AUTO X2/AUTO X3/.../AUTO X128/OFF	
		RETURN	-	
	WHITE BALANCE	ATW	-	
		AUTO	-	
		MANUAL	COLOR TEMP	INDOOR/OUTDOOR
			RED	- 100 から +100
			BLUE	- 100 から +100
			RETURN	-
		ONE PUSH	-	
	DAY/NIGHT	AUTO	D/N LEVEL	LOW/MIDDLE/HIGH
			DWELL TIME	5、10、15、30、60 SEC
			RETURN	-
		DAY	-	

CAMERA SET	DAY/NIGHT	NIGHT	-	
	3D-DNR	OFF	-	
		LOW	-	
		MIDDLE	-	
		HIGH	-	
	COLOR	ON	COLOR	-50 から 50
		OFF	-	
	SHARPNESS	0 から 68	-	
	STABILIZER	ON	-	
		OFF	-	
	RETURN	-		
PAN/TILT SET	PRESET	SET PRESET	NAME	OFF/ON
			SPEED	1 から 127
			DWELL TIME	1 から 255
			IRIS	AUTO、20、40、60、80、100 %
			WDR/BLC/HSBLC	OFF/ LOW WDR/ MID. WDR HIGH WDR/ LOW BLC/ MID. BLC /HIGH BLC/ LOW HSBLC / MID. HSBLC/ HIGH HSBLC
			SHUTTER	X512、...、x2、AUTO、OFF、A.FLK、1/160、...、1/120 000
			SET POSITION	-
			SAVE	-
			RETURN	-
		GOTO PRESET	0 から 255	
		PRESET TOUR	-	
		CLEAR PRESET	0 から 255	
		CLEAR ALL	-	
		FREEZE	ON	
			OFF	
		RETURN	-	
	GROUP TOUR	SET GROUP	1 から 10	
		RUN	1 から 10	
		CLEAR	1 から 10	
		RETURN	-	

PAN/TILT SET	PATTERN	RECORD	1 から 4	
		RUN	1 から 4	
		RETURN	-	
	AUTO PAN	SET AUTO PAN	1 から 8	
		RUN	-	
		CLEAR	-	
		RETURN	-	
	PRIVACY MASK	MASK NUMBER	1 から 8	
		SET MASK	-	
		MASK STATE	ON/OFF	
		MASK COLOR	GRAY、WHITE、BLACK	
		WIDTH	0 から 320	
		HEIGHT	0 から 240	
		RETURN	-	
	SPECIAL	PROPORTIONAL PT	ON/OFF	
		COMPASS	ON/OFF	
		HOME POSITION	ON	SET
				GO
				DWELL TIME (INFINITE から 100 MIN)
				RETURN
			OFF	-
		AUTO RETURN	ON	RETURN TIME (1 MIN から 100 MIN)
			OFF	-
		TILT LIMIT	ON/OFF	
		MOTION DET	ON/OFF	SENSITIVITY(0 から 100)
		COMMUNICATION	PROTOCOL	LG MULTIX/ PELCO C/ PELCO D/ PELCO P
			BAUDRATE	2 400/ 4 800/ 19 200/ 38 400/ 9 600 BPS
			SAVE & EXIT	-
	AUTO TRACKING	TRACK MODE	PT/PTZ	
		TARGET SIZE	SMALL/MEDIUM/LARGE	
		CAMERA HEIGHT	2.5 / 5 / 8 / 10 / 15 / 20 / 30M	

PAN/TILT SET	AUTO TRACKING (LCP3750T シリーズのみ)	LOST MODE	ACTION	STAY / RETURN
			TIME OUT	10 / 30 S / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 MIN
			RETURN	-
		TRACK TIME	INFINITE / 10 / 30 S / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 MIN	
		SENSITIVITY	LOW / MIDDLE / HIGH	
		RETURN	-	
	RETURN	-		
OSD SET	USER TITLE	ON/OFF	-	
	ZOOM MAG	ON/OFF	-	
	FUNCTION	ON/OFF	-	
	DOME ID	ON/OFF	-	
	RETURN	-		
LANGUAGE	オプションは機種によって異なります。			
ALARM SET	ALARM IN1 から ALARM IN4	ON	NORMAL	OPEN/CLOSE
			ALARM IN1 から ALARM IN4	PRESET 0 から 255
			DWELL TIME	3 から 255
			RETURN	-
		OFF	-	
	ALARM OUT1 から ALARM OUT2	ON	ALARM OUT1 から ALARM OUT2	ALARM IN1 から ALARM IN4, MOTION DET
			DWELL TIME	3 から 255
			RETURN	-
		OFF	-	
RESET	INFORMATION	-		
	INITIALIZATION	-		
	CAMERA RESET	-		
	FACTORY RESET	-		
	RETURN	-		
RETURN	-			

注記

ZOOM START、 ZOOM END および CAMERA RESET オプションは LCP3750 シリーズのみご利用になれます。

メニューナビゲーション

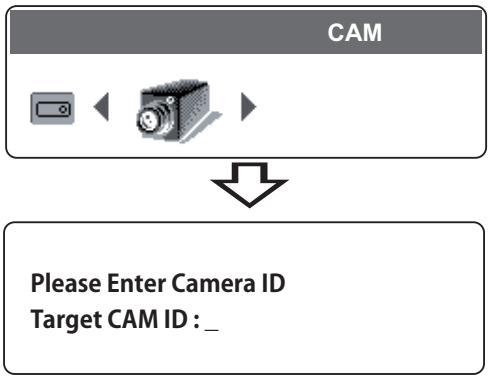
LKD1000コントローラはＬＧドームカメラの全ての高機能を制御することができるので、ＬＧドームカメラの機能を説明するにあたって本マニュアルのLKD1000コントローラを利用します。(コントローラのより詳しい説明については、LKD1000コントローラのマニュアルを参考してください)

LKD1000のボタン	カメラOSDの操作
Cam OSDボタン	設定メニューを表示したり、取り除いたりします。
ZOOM INボタン	メニュー画面で上方に移動します。
ZOOM OUTボタン	メニュー画面で下方に移動します。
FOCUS NEARボタン	オプションの値を上げます。
FOCUS FARボタン	オプションの値を下げます。
Open/Close(Enter)のボタン	選択をしたり、マークのある項目のサブメニューを表示します。

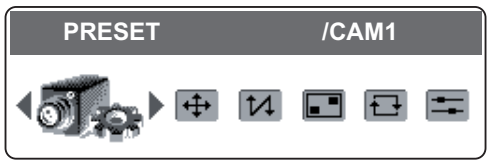
カメラの設定メニューへのアクセス

LKD1000コントローラのキーを使用し、設定メニューにアクセスするには、次の手順に従ってください：

1. メインメニューでCAM(カメラ)のアイコンを選択し、ENTERを押します。カメラID入力メニューが表示されます。



2. LKD1000コントロールに接続されたカメラを直接に制御するために、接続されたカメラのIDを入力し、ENTERを押します。カメラのコントロールメニューが表示されます。



3. [Cam OSD]ボタンを押し、カメラ設定メニューを表示します。

この時点で、カメラ設定メニューにアクセスすることができます。

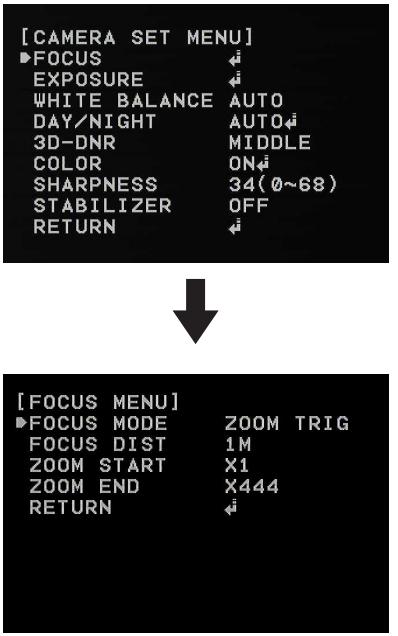
一般的な操作

1. [In] または [Out]ボタンでオプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。サブメニューがモニターの画面に表示されます。
2. [In] または [Out]ボタンでサブメニューのオプションを選択します。
3. [Near] または [Far]ボタンで特定の値を選択します。
4. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押し、前のメニューに戻ります。
5. [Cam OSD]ボタンを押し、設定メニューを終了します。

カメラメニューの設定

フォーカスの設定

カメラは、画像の中心点を検出することによって自動的にフォーカスを調整します。



フォーカスモード

[FOCUS]メニューで [FOCUS MODE] オプションを選択し、そして以下のモードを選択できます。

- AUTO：オートフォーカスが自動的に有効になります。
- MANUAL：ズームの動作の後、フォーカスが自動的に有効になります。フォーカスを手動で制御したい場合、コントローラでFOCUS (NEAR または FAR)ボタンを押してください。
- ONE PUSH：フォカスが手動で有効になります。カメラがオートフォーカスのコマンドを受信すると、カメラのオートフォーカスモードが有効になり、フォーカスが自動的に設定され、そしてフォーカスモードが自動的にマニュアルモードに変更されます。
- ZOOM TRIG：フォカスが手動で有効になります。ズームを変更すると、フォーカスが自動的に有効になり、そしてフォーカスモードが自動的にマニュアルモードに変更されます。

フォーカス距離の設定

最短フォーカス距離を選択します。[FOCUS]メニューで[FOCUS DIST]オプションを選択し、そしてフォーカス距離の値を選択します。

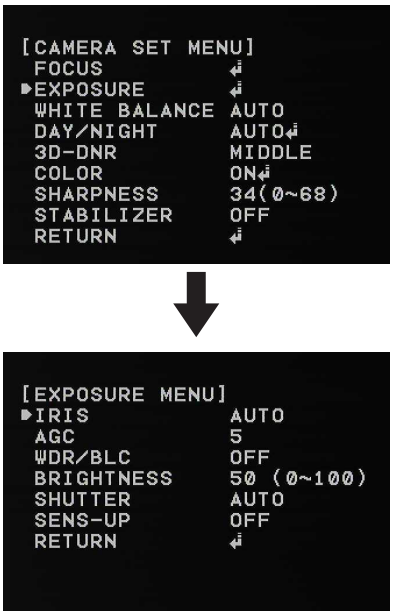
ズーム開始の設定

カメラのズーム開始位置を設定できます。ズーム機能が作動すると、ズームはいつも選択されたズーム開始位置で始まります。
[FOCUS]メニューで[ZOOM START] オプションを選択し、そしてズーム開始位置を設定します。Zoom Start オプションは LCP3750 シリーズのみご利用になれます。

ズーム終了の設定

カメラのズーム終了位置を設定できます。ズーム終了位置を設定すると、ズームは選択されたズーム終了位置で終了します。
[FOCUS]メニューで[ZOOM END] オプションを選択し、そしてズーム終了位置を設定します。Zoom End オプションは LCP3750 シリーズのみご利用になれます。

露出の設定



アイリスの設定

カメラ露出のための希望のレンズのアイリス値を選択します。[EXPOSURE]メニューで[IRIS]オプションを選択し、そして希望の値を選択します。

- AUTO：レンズのアイリス値が自動的に設定されます。

- MANUAL：[Near] または [Far]ボタンを使用し、DCアイリスレベルを選択します。DCアイリスレベルは1つのパラメータ単位で設定されます。

AGC（オート・ゲイン・コントロール）
画像が暗すぎると思えば、最大[AGC]値を変更し、画像を明るくすることができます。

1. [EXPOSURE]メニューで[AGC]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで特定のモードを選択します。

WDR/BLC設定
WDR/BLCオプションを使用し、BLCまたはWDRカメラのオプションを設定できます。

1. [EXPOSURE]メニューで[WDR/BLC]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでモードを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
   - WDR LEVEL：WDR（Wide dynamic range）機能は、照明条件に問題がある場合に役立ちます。暗い部分と明るい部分の両方を撮影し、その違いを組み合わせながら、その場を見ているかのように高いリアル感を持つ画像を生成できます。WDRレベル(LOW, MIDDLE, HIGH)を設定します。
   - BLC LEVEL：カメラの逆光補正機能は、高コントラストによる可視性の問題がある場合に役に立ちます。BLCレベル(LOW, MIDDLE, HIGH)を設定します。
   - HSBLC：被写体がはっきりと見えるように、特定のエリアの明るさをマスキングします。
     - HSBLC LEVEL：HSBLCレベルを選択します。(LOW, MIDDLE, HIGH)。
     - COLOR：[Near] または [Far]ボタンで1つの色を選択します。
   - OFF：使用されていません。

明るさの設定
暗い動画の明るさを増すことができます。明るさをより低い値に設定すると、画像はより暗くなります。明るさをより大きな値に設定すると、画像はより明るくなります。

1. [EXPOSURE]メニューで[BRIGHTNESS]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで明るさのレベルを設定します。

SHUTTER(シャッター速度)の設定
カメラ露出に希望のシャッター速度を選択します。画像が暗くなる所があるが、シャッター速度を上げると、より素早い動きの被写体を撮影することができます。

1. [EXPOSURE]メニューで[SHUTTER]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでシャッター速度を設定します。

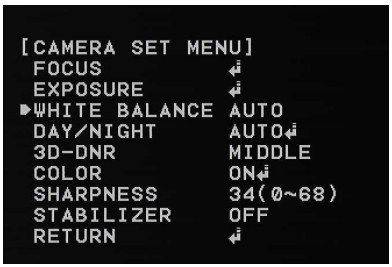
SENS-UPの設定
画像が暗く、はっきり見えない場合、この機能で画像の感度を高めることができます。

1. [EXPOSURE]メニューで[SENS-UP]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでSENS-UPの限度を設定します。SENS-UP機能を設定するには、[SHUTTER]で[AUTO]を選択する必要があります。

注記

AGCが[OFF]に設定される場合、またはSHUTTERが[EXPOSURE]メニューのAUTO以外のSHUTTERオプションに設定される場合には、昼/夜機能のAUTOモードは利用不可になり、[---]マークが表示されます。

ホワイトバランスの設定
カメラが光源色を補正するために出力色を切り替える方法を選択することができます。

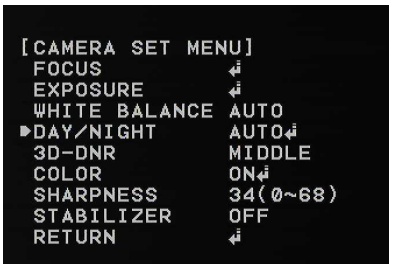


1. [CAMERA SET]メニューで[WHITE BALANCE]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでモードを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
   - ATW (Auto-Tracing White Balance):このモードでは、適切なホワイトバランスのための色温度範囲は約1700 K から 11 000 Kです。適切なホワイトバランスは、以下の条件の下で難しくなります：

- 色温度は、1700 K から 11 000 K の範囲を超えている場合。
- シーンには、青空、夕日など、高い色温度の被写体が画像の大部分を占めている場合。
- シーンがぼやけている場合。

• AUTO：このモードでは、適切なホワイトバランスのための色温度範囲は約3 500 K から 6 500 Kです。適切なホワイトバランスは、以下の条件の下で難しくなります：
  - 色温度は、3 500 K から 6 500 K の範囲を超えている場合。
  - シーンには、青空、夕日など、高い色温度の被写体が画像の大部分を占めている場合。
  - シーンがぼやけている場合。
• MANUAL：ホワイトバランスオプションを手動で設定できます。
  - COLOR：[Near] または [Far]ボタンで1つの機能を選択します。
    › INDOOR：ホワイトバランスのための色温度範囲は約3 600 Kです。
    › OUTDOOR：ホワイトバランスのための色温度範囲は約6 500 Kです。
  - RED：希望の赤の値を設定します。(-100 から 100)
  - BLUE：希望の青の値を設定します。(-100 から 100)
• ONE PUSH：ワンプッシュモードを選択すれば、[Open] または [Close]ボタンでホワイトバランスを自動的に設定できます。

昼/夜設定



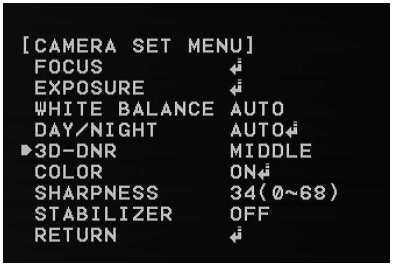
1. [CAMERA SET]メニューで[DAY/NIGHT]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでモードを選択します。
   • AUTO：昼/夜モードを自動的に変更されます。
     - D/N LEVEL：[Near] または [Far]ボタンで特定のレベルを選択します。
     - DWELL TIME：[Near] または [Far]ボタンで特定のドウェル時間を選択します。

注記

AGCが[OFF]に設定される場合、またはSHUTTERが[EXPOSURE]メニューのAUTO以外のSHUTTERオプションに設定される場合には、昼/夜機能のAUTOモードは利用不可になり、[---]マークが表示されます。

• DAY：カラーモードが有効です。
• NIGHT：白黒モードが有効です。

3D-DNR設定



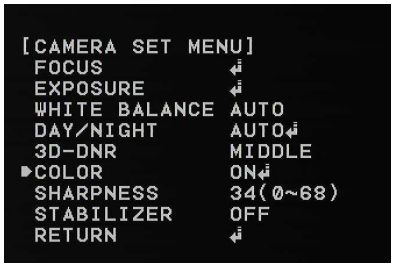
1. [3D-DNR]オプションを選択します。明るさの問題のため画像がはっきりしていない場合、この機能で画像ノイズを低減することができます。
2. [Near] または [Far]ボタンで特定のオプションを選択します。

注記

• [EXPOSURE]メニューでAGCを[OFF]に設定すると、[3D-DNR]機能が利用不可になります。
• この機能を使用すると、残像が発生することがあります。

カラーの設定

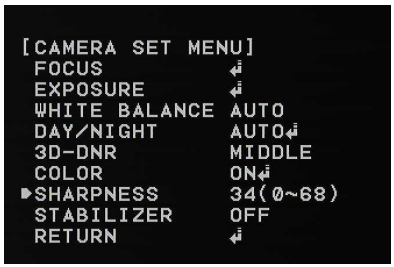
表示中の画像をグレースケールまたはカラーに切り替えることができます。



1. [CAMERA SET]メニューで[COLOR]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで色彩効果を変えます。
   - ON：画像をカラーで表示します。ONを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、サブメニューを表示します。[Near] または [Far]ボタンをでカラーレベルを調整できます。
   - OFF：画像をグレースケールで表示します。

鮮明さの設定

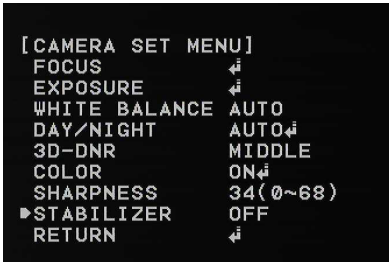
画像の輪郭が明瞭になります。



1. [CAMERA SET]メニューで[SHARPNESS]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンでオプションを調整します。鮮明さを高い値に設定すると、画像の輪郭ははっきりします。鮮明さを低い値に設定すると、画像の輪郭はぼやけます。

手振れ防止機構の設定

手振れ防止機構の機能によって、低周波数振動によるぼやけた部分の出現を減らします。
この機能は屋外での監視に役に立ちます。

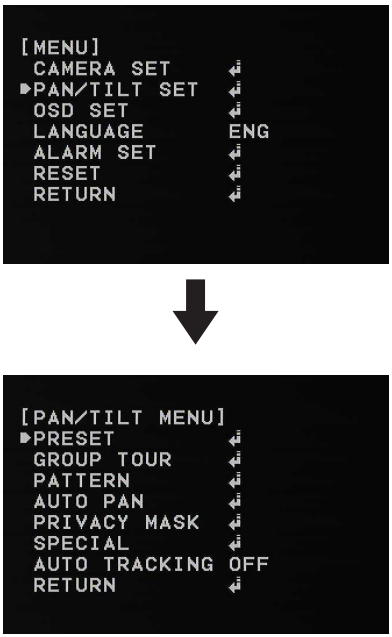


1. [CAMERA SET]メニューで[STABILIZER]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON] または [OFF]にします。

パン/チルトの設定

事前設定の設定

事前設定位置とは、カメラが監視する位置（事前設定位置）を番号で登録する機能です。位置番号を入力することによって、カメラを事前設定位置に移動させることができます。



事前設定位置を登録するには

1. [PRESET]メニューで[SET PRESET]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで登録する希望の事前設定番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
3. 事前設定の名を設定します。

   事前設定の名を設定するには

   1. NAMEのオプションを[ON]にし、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
   2. [In]、[Out]、[Near] または [Far]ボタンを使用し、文字、数字、印マーク、または選択可能な項目を選択します。
      - </>:カーソルを左右に移動させます。
      - (Blank):カーソルの位置にスペースを挿入します。
      - CLR:間違ったコードを入力した場合、[CLR]を選択し、そして[Open] または [Close]を押し、削除します。全ての文字が同時に削除されます。
      - SAVE:このオプションを選択し、設定を確認します。
      - EXIT:このオプションを選択し、設定メニューを終了します。
3. [Open] または [Close]ボタンで自分の選択を確認します。
4. 事前設定位置に移動する速度を選択します。
5. 事前設定ツアーのドウェル時間を選択します。
6. IRISオプションを設定します。IRIS LEVELは20%単位で設定されます(20%、40%、60%、80%、100%)。
7. WDR/BLC/HSBLCオプションを設定します。
8. SHUTTERオプションを設定します。
9. [SET POSITION]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
10. ジョイスティックを使用し、カメラを希望の位置に移動させ、そして[Open] または [Close]ボタンを押し、保存します。
11. [SAVE]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定を確認します。位置とそれぞれの番号が記憶されます。
12. 追加の位置を登録するには、1 から 11の手順を繰り返してください。
13. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

事前設定位置での画像の切り替え

事前設定機能によって、組み合わせカメラを設定された事前設定位置に移動させることができます。組み合わせカメラのための事前設定位置を予めに設定する必要があります。

1. [PRESET]メニューで[GOTO PRESET]オプションを選択します。
2. 記憶された事前設定位置のインデックス番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。カメラが事前設定位置に移動し、そしてその位置での画像がモニターに表示されます。

事前設定位置をツアーするには

全ての事前設定位置にわたってツアーを実行することができます。

1. [PRESET]メニューで[PRESET TOUR]オプションを選択します。カメラに登録されている全ての事前設定位置が選択され、カメラ位置画像が動作中のモニターが切り替えられます。
2. ジョイスティックを動かすか、またはツアー停止のコマンドを出すことによってツアーを停止することができます。

事前設定位置をクリアするには

記憶された事前設定位置をクリアすることができます。

1. [PRESET]メニューで[CLEAR PRESET]オプションを選択します。
2. 記憶された事前設定位置のインデックス番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押し、事前設定位置をクリアします。

全ての事前設定位置をクリアするには

記憶された全ての事前設定位置を同時にクリアすることができます。

1. [PRESET]メニューで[CLEAR ALL]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押し、全ての事前設定位置をクリアします。

フリーズ機能

1. [PRESET]メニューで[FREEZE]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで[ON] または [OFF]に設定します。

グループツアーの設定

既に登録されている複数の事前設定位置を選択し、グループを作成することができます。グループを10個まで作成することができます。

グループを設定するには

1. [GROUP TOUR]メニューで[SET GROUP]オプションを選択します。
2. グループ番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
3. グループの項目を設定します。グループの項目を8個まで設定することができます。
4. [SAVE]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定を確認します。
5. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

グループをツアーするには

既に登録されているグループのツアーを実行できます。

1. [GROUP TOUR]メニューで[RUN]オプションを選択します。
2. グループ番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。カメラがグループの事前設定位置に移動し、そしてその位置での画像がモニターに表示されます。

グループを削除するには

記憶されたグループを削除することができます。

1. [GROUP TOUR]メニューで[CLEAR]オプションを選択します。
2. グループ番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。グループが削除されます。

パターンの設定

カメラは反復するパターンで動作することができます。このパターンは手動のパン、チルト、およびズームの操作を記録することによって作成できます。カメラはその手動の操作をメモリに保存します。

パターンを記録するには

1. [PATTERN]メニューで[RECORD]オプションを選択します。
2. 記録番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。パターンの記録が開始します。
3. カメラを希望の動きで移動させます。
4. [Open] または [Close]ボタンを押し、パターンの記録を停止します。

注記

パターンの利用可能な合計時間は操作によって異なります。

パターンを再生するには

1. [PATTERN]メニューで[RUN]オプションを選択します。
2. 記録番号を選択し、そして[Open] または [Close] ボタンを押し、記録されたパターンを再生します。ユーザーがジョイスティックを動かすか、または任意のボタンを押すことでパターンの再生を停止するまで、パターンは何度も再生されます。

オートパンの設定

オートパン番号を選択することによって、カメラが自動的にパン操作を行ないます。

オートパン位置を設定するには

1. [AUTO PAN]メニューで[SET AUTO PAN]オプションを選択します。
2. 登録したい番号を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
3. 移動速度を選択します。
4. オートパンのドウェル時間を選択します。
5. ジョイスティックで、カメラを希望の起点に移動させます。
6. [SET POSITION]オプションを選択し、そして [Open] または [Close]ボタンを押します。
7. ジョイスティックで、カメラを希望の終点に移動させ、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
8. 追加の位置を登録するには、1 から 7の手順を繰り返してください。
9. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

注記

オートパンの動作中に[CLEAR]オプションを押すと、全てのオートパン位置が削除されます。

オートパンを再生するには

カメラはオートパン機能で動作することができます。

1. [AUTO PAN]メニューで[RUN]オプションを選択します。
2. ジョイスティックを動かすか、または任意のボタンを押すことによってオートパン機能を停止することができます。

オートパン位置を削除するには

記憶されたオートパン位置を削除することができます。

1. [PAN/TILT]メニューで[AUTO PAN]オプションを選択します。
2. [CLEAR]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、オートパン位置を削除します。

プライバシーマスクの設定

この機能はプライバシーを保護するものです。マスクゾーンは画面に表示されません。このようなゾーンを8個まで登録することができます。

1. [PAN/TILT MENU]メニューで[PRIVACY MASK]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押し、PRIVACY MASK MENUを表示します。
3. [MASK NUMBER]オプションで、[Near] または [Far]ボタンを使用し、ゾーン番号を選択します。
4. [SET MASK]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
5. ジョイスティックを使用し、マスクゾーンを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押し、保存します。
6. [MASK STATE]オプションで、[Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON] または [OFF]を設定します。既にマスクゾーンを登録し、オンになっている場合は、マスクゾーンボックスがモニターに表示されます。
7. [MASK COLOR]オプションで、[Near] または [Far]ボタンを使用し、マスクゾーンボックスの色を選択します。
8. [WIDTH]オプションを選択し、[Near] または [Far]ボタンを使用し、マスクゾーンボックスの横のサイズを調整します。
9. [HEIGHT]オプションを選択し、[Near] または [Far]ボタンを使用し、マスクゾーンボックスの縦のサイズを調整します。
10. 追加の位置を登録するには、3 から 9の手順を繰り返してください。

注記

- 登録された1 から 4のマスク番号の部分は同じ色です。(5 から 8の番号の部分も同様です)。マスクの色を変更すると、各グループで登録されたマスクの色が自動的に同じ色に変更されます(1 から 4および5 から 8)。
- PRIVACY MASKの初期の色は青です。[SET MASK]オプションでPRIVACY MASKの位置を設定した後、灰色に変更されます。[SET MASK]オプションで、必ず[Open] または [Close]ボタンを押し、プライバシーマスクの色を確認してください。
- 事前設定のためのプライバシーマスクの必要があれば、まずプライバシーマスクを設定してください。

スペシャル設定

比例PT

この機能は、ズーム比に応じてパン/チルト(垂直/水平回転)速度を自動的に調整することによって、画像の最適化を図ります。

1. [SPECIAL]メニューで[PROPORTIONAL PT]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで[ON] または [OFF]にします。
   - ON：パン/チルト速度は、ズーム比に逆比例します。
   - OFF：速度は、ズーム比とは関係なく、最速レベルで一定します。

コンパス

東西南北の方向を画面に表示することができます。

1. [SPECIAL]メニューで[COMPASS] オプションを選択します。
2. [COMPASS]オプションを[SET]にし、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
3. ジョイスティックを使用し、北方向を示し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
4. [COMPASS]オプションを[ON]にします。

ホーム位置
ホーム位置はカメラの基本的な位置です。
カメラを随時にこの位置に移動させることができます。
ホーム位置を設定するには以下の手順に従ってください。

1. [SPECIAL]メニューで[HOME POSITION]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、オンにします。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。
4. [SET]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
5. ホーム位置を任意に決め、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。
6. [DWELL TIME]オプションを選択し、そしてドウェル時間を選択します。
7. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

ホーム位置への移動

1. [SPECIAL]メニューで[HOME POSITION] オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、オンにします。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。
4. [GO]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。カメラはホーム位置に移動します。

オーリターン
この機能では、いかなる操作もなく特定の時間が過ぎたら、カメラが自動的に特定のモードに戻るように設定することができます。

1. [SPECIAL]メニューで[AUTO RETURN]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンで[ON]にし、そして [Open] または [Close]ボタンを押します。
3. [RETURN TIME]オプションを選択し、そして オートリターン時間を選択します。
4. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

チルト限度
チルトの範囲を決めることができます。この機能を利用すると、カメラは10度から170度までチルトすることができます。

1. [SPECIAL]メニューで[TILT LIMIT]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON]にします。この機能を使用しない場合、[OFF]にしてください。

動作検知
動作検知機能は、明るさのレベルの変更を監視することによってシーンで動作している物体を認知します。

1. [SPECIAL]メニューで[MOTION DET]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON]にします。この機能を使用しない場合、[OFF]にしてください。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。
4. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[SENSITIVITY] オプションを設定します。

通信
この設定は、システムコントローラとカメラとの接続を確立するのに必要です。

1. [SPECIAL]メニューで[COMMUNICATION]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押します。
3. 以下のオプションを設定します。
   - PROTOCOL：このオプションでは、RS-485通信プロトコールを設定することができます。希望のプロトコールを選択します。
   - BAUDRATE：システムコントローラとカメラとの希望の通信速度を選択します。選択したパラメータをシステムコントローラとカメラとのボーレートとの確認を行ないます。
   - SAVE & EXIT：このオプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、通信の設定を保存し、設定メニューを終了します。

オートトラッキングの設定 (オプション)

注記

オートトラッキング機能はLCP3750Tシリーズのみサポートされています。

オートトラッキングメニューのオプションを設定します。このオプションでは、画面上で動作している対象のトラッキングを行なうことができます。[Auto Tracking]オプションを利用したい場合、[Near] または [Far]ボタンを使用し、オンにしてください。

注記

環境条件

以下の条件の下で取り付けた場合には、対象のトラッキングでエラーが発生する可能性があります。

- 対象と背景のコントラストが低いです。
- ドームカバーは雨滴、雪などで汚れています。
- 照明が激しく変動しています。
- 動作が激しいが対象がありません。
- 対象がカメラの視角で垂直方向に移動しています。
- 対象が取り付けられたカメラの下で動いています。
- 照明などのレベルが激しく変動する対象、例えば明るい光源、点滅光があります。
- ウィンドウの反映、道路表面の反映、バックライトなど、ドーム内に反映が届いています。
- 対象は、例えば電住など、大きく、高い物体の後ろで移動しています。
- 対象の移動速度が速いです。
- カメラが揺れています。

トラックモード

[Near] または [Far]ボタンで特定のモードを選択します。

- PT：このモードは、パン/チルトを利用し、オートトラッキングの実行中に、対象のトラッキングを行ないます。
- PTZ：このモードは、パン/チルト/ズームを利用し、オートトラッキングの実行中に、対象のトラッキングを行ないます。

ターゲットのサイズ

トラッキングの対象が実際に画面に表示されているサイズを確認します。

- SMALL：このモードは、対象のズームインによって、対象が画面の4分の1のサイズになるまで拡大します。
- MEDIUM：このモードは、対象のズームインによって、対象が画面の半分のサイズになるまで拡大します。
- LARGE：このモードは、対象のズームインによって、対象が画面の4分の3のサイズになるまで拡大します。

注記

[TRACK MODE]をPTに設定すると、[TARGET SIZE]を設定できなくなり、[---]が表示されます。

カメラの高度
[Near] または [Far]ボタンを使用し、カメラが取り付けられる高度を選択します。

行方不明モード
対象が行方不明になった場合に、カメラはどの操作を行なうかを設定できます。

- ACTION
  - STAY：カメラは、対象を追跡できなくなった場合に、最初の位置に戻るのではなく、対象が行方不明になった位置に停留します。
  - RETURN：できなく、対象を追跡できなくなった場合に、最初の位置に戻り、別の対象を追跡する態勢を整えます。
- TIME OUT：カメラは、1回目に対象を追跡できなくなった時に、ズームアウトを2回行ない、対象の追跡を再び試みます。2回目のズームアウトの後、カメラが移動されずに、検知状態の最大持続時間を設定できます。

トラック時間
トラッキングの最大持続時間を設定することができます。システムは、動作中の物体を検知した後、トラッキングを開始します。ユーザーが予めに設定した最大持続時間が満了になったら、トラッキングは終了し、カメラは最初の位置に戻ります。そして別の物体のトラッキングを行なうためにシステムは再起動されます。最大持続時間として、かなり短い時間を設定すれば、トラッキングが不調になる恐れがあるので注意してください。

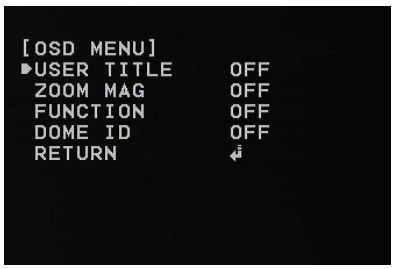
感度
検知の感度を設定することができます。環境条件の影響で検知の精度が不安定になることがあるが、そこで適切な感度を設定することによってオートトラッキングの好調なパフォーマンスを確保することができます。不調につながる環境の条件には、例えば、雨、雪、枝の揺れなどがあります。

- LOW：対象の検知感度は低いです。この場合では、対象が小さすぎるか、または背景との区別が微妙であれば、検知されない可能性があります。
- MEDIUM：対象の検知感度は中程度です。カメラは、低感度の場合より対象を精密に検知できます。揺れ動く枝が検知されることがあるがこれは頻繁ではありません。
- HIGH：対象の検知感度は高いです。カメラは、小さい対象を検知できるが、揺れ動く枝、旗、雨、雪なども検知します。

注記

- 低光で、トラッキング機能が動作しないことがあります。
- 車のヘッドライトがトラッキングエラーを起こす可能性があります。
- オートPTZトラッキングは単一の侵入者を監視するのに使用されます。従って、複数の動作している対象があれば、使用が不適切になります。
- カメラがよく固定されなかった場合、トラッキングエラーが発生することがあります。
- 日の出、夕日などの時に見られる長い影が現れると、トラッキングエラーの可能性が高まります。
- ちらつく明かりまたはドーム内での反映のため、トラッキング機能が不調になることがあります。
- 対象があまりにも早く通る場合、トラッキング機能が不調になることがあります。
- 対象と背景のコントラストが低い場合、トラッキングエラーが起こる可能性があります。
- 対象が大きすぎたり、小さすぎたりする場合、トラッキングエラーが起こる可能性があります。
- カメラは、目的対象以外の動作、例えば樹の枝、吊りバナー、旗、照明の突然変更による色の変更、雲の存在による発光強度の変更などを検知し、トラッキングを行なうことがあります。トラッキングエラーは、明るい光源、点滅光、またドーム内での反映のために起こります。このようなエラーを修正、防止するには、カメラの方向や角度を調整するべきです。
- トラッキングエラー、また雨滴、雪、霧、煙、熱などによる劣化が発生する可能性があります。
- カメラのレンズが異常物質で汚れている、また傷付いている場合、トラッキングエラーが発生する可能性があります。
- 最初の位置でトラッキング対象の大きさを画面の4分の1に調整してください。
- 埃などで汚れたドームカバーを使用すると、トラッキング機能のパフォーマンスが低下するので、ドームカバーおよびカメラのレンズを定期的に掃除するようにしてください。
- 状況や場合によって、この機能は期待の通りに動作しないことがあります。

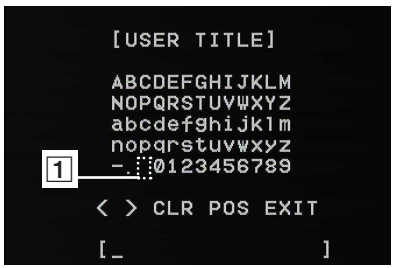
OSD 設定



ユーザータイトルの設定

カメラの認識情報で、そのカメラに数字と文字を割り当てることができます。

1. [OSD]メニューで[USER TITLE]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON]にします。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。USER TITLEのメニューが表示されます。
4. [In]、[Out]、[Near] または [Far]ボタンを使用し、文字、数字、印マーク、または選択可能な項目を選択します。



- </>:カーソルを左右に移動させます。
- 1 (Blank):カーソルの位置にスペースを挿入します。
- CLR:間違ったコードを入力した場合、[CLR]を選択し、そして[Open] または [Close]を押します。全ての文字が同時に削除されます。
- POS:[Near] または [Far]ボタンを使用し、画面でのUSER TITLEの位置を移動させます。
- END:このオプションを選択し、設定メニューを終了します。

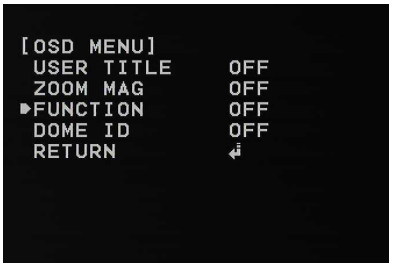
ズームMAGの設定

ズームOSDを画面に表示したり、取り除いたりします。

1. [OSD]メニューで[ZOOM MAG]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON] または [OFF]にします。
3. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

機能の設定

機能OSDを画面に表示したり、取り除いたりします。



1. [OSD]メニューで[FUNCTION]オプションを選択します。

2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON] または [OFF]にします。
3. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

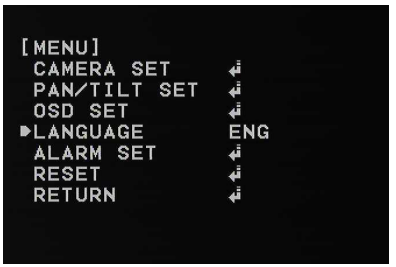
ドームIDの設定

カメラID OSDを画面に表示したり、取り除いたりします。

1. [OSD]メニューで[DOME ID]オプションを選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON] または [OFF]にします。
3. [RETURN]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]を押し、設定メニューを終了します。

言語の設定

設定メニューおよびOSDディスプレイで使用される言語を選択します。



アラームの設定

本カメラは、アラーム信号を感知できるターミナルがあります。本カメラは、接続されたいかなるアラーム装置からの信号を受信すると、事前設定地位に移動するように設定することができます。

アラームインの設定

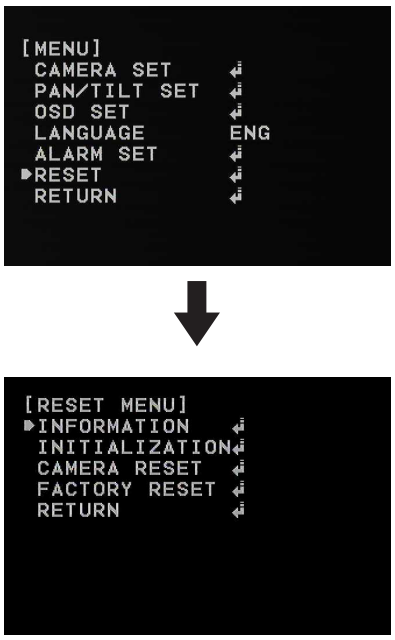
1. [ALARM SET]メニューで選択可能なアラーム入力のオプションを1つ選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON]にします。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。
4. [NORMAL]オプションを選択し、そして[Open] または [Close]オプションを選択します。
   - OPEN:密集位置でアラームを有効にします。
   - CLOSE:開放位置でアラームを無効にします。
5. [ALARM IN(1 から 4)]オプションを選択し、そして事前設定番号を選択します。アラームが発報されると、カメラは選択された事前設定位置に移動します。アラームのソースがオフになるまで、事前設定が継続的に実行されます。

6. [DWELL TIME]オプションを選択し、そしてアラームのドウェル時間を選択します。選択されたドウェル時間が経ったら、アラームが停止します。

アラームアウトの設定

1. [ALARM SET]メニューで選択可能なアラームアウトのオプションを1つ選択します。
2. [Near] または [Far]ボタンを使用し、[ON]にします。
3. [Open] または [Close]ボタンを押します。
4. アラーム入力番号または動作検知を選択します。選択されたアラーム入力が発報されるか、または動作が検知されたら、アラーム信号が出力されます。
5. [DWELL TIME]オプションを選択し、そしてアラームのドウェル時間を選択します。選択されたドウェル時間が経ったら、アラーム出力が停止します。

設定のリセット



情報

現在のカメラの情報、すなわちPTZソフトウェアバージョン、カメラのソフトウェアバージョン、カメラＩＤ、プロトコル、およびボーレートなどを確認することができます。

1. [RESET]メニューで[INFORMATION]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押し、カメラの現在の情報を表示します。

初期化

カメラの設定を初期化することができます。

1. [RESET]メニューで[INITIALIZATION]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押し、そして確認ウィンドウが表示されます。
3. [YES]を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。

カメラのリセット

[CAMERA SET MENU] の特定設定および情報を消去し工場出荷設定に戻す。Camera Reset オプションはLCP3750 シリーズのみご利用になれます。

1. [RESET]メニューで [CAMERA RESET] オプションを選択します。
2. [Open]または [Close]ボタンを押すと、確認ウィンドウが表示されます。
3. [YES]を選択し、[Open]または [Close]ボタンを押。

工場出荷時設定へのリセット

特定の設定や情報をクリアし、工場出荷時設定に戻ります。

1. [RESET]メニューで[FACTORY RESET]オプションを選択します。
2. [Open] または [Close]ボタンを押し、そして確認ウィンドウが表示されます。
3. [YES]を選択し、そして[Open] または [Close]ボタンを押します。カメラは工場出荷時設定に戻ります。

5
付録

仕様

モデル		LCP3750-AN	LCP3750-AP	LCP3750T-AN	LCP3750T-AP
信号システム		NTSC	PAL	NTSC	PAL
イメージセンサー		4.5 mm(1/4 タイプ) スーパー HAD II CCD			
総画素数		520 000 画素	610 000 画素	520 000 画素	610 000 画素
有効画素数		490 000 画素	570 000 画素	490 000 画素	570 000 画素
水平解像度		600 テレビ線			
レンズ		x37 ズーム、F1.5 (ワイド エンド)、F4.1(テレ エンド)、f= 3.5 mm から 129 mm			
S/N 比		50 dB (AGC オフ)			
昼/夜		オート/昼/夜			
最小照明 (30 IRE)	B/W	0.01 lx (Sens-up オフ), 0.000 01 lx (Sens-up オン)			
	色	0.2 lx (Sens-up オフ), 0.003 lx (Sens-up オン)			
光学ズーム		x37			
デジタルズーム		x12			
走査周波数 (H/V)		15.734 KHz / 59.94 Hz	15.625 KHz / 50 Hz	15.734 KHz / 59.94 Hz	15.625 KHz / 50 Hz
調整システム		内部			
ホワイトバランス		ATW / オート / マニュアル / ワンプッシュ			
制御方式		RS-485、Coaxial			
アラーム入力		4チャンネル			
アラーム出力		2チャンネル			

ビデオ出力	1Vp-p 複合 (75Ω)			
逆光補正	WDR / BLC / HSBLC / オフ			
電気シャッター	1/60 から 1/120 000	1/50 から 1/120 000	1/60 から 1/120 000	1/50 から 1/120 000
3D-DNR	オフ / LOW / MIDDLE / HIGH			
自動利得コントロール	オン / オフ			
Digital Effect ディジタル効果	オートフリップ			
パターン記録 & プレー	1 から 4 / 1 から 4			
保護	バンダル プルーフ / IP66			
センスアップ	オフ / 自動 / 手動			
IRISコントロール	オート/マニュアル			
スタビライザー	オン／オフ			
動作検知	サポート			
オートトラッキング	サポートなし		サポート	
パン機能の範囲と速度	0度 から 360度、最大500度/秒			
チルト機能の範囲と速度	0度 から 180度、最大500度/秒			
プライバシーゾーン	8 マスク・ゾーン			
事前設定/ID	256 位置 / 256			
オートパン	2 から 8位置			
パターン	4			
グループツアー	10グループまで			
プロトコル	Coax :Pelco-C (Coaxial) RS-485 :LG Multix, Pelco(D/P)			
動作温度/湿度	-20 ℃ から 50 ℃ / 0 % RH から 80 % RH			
保管温度/湿度	-30 ℃ から 60 ℃ / 0 % RH から 90 % RH			
電源	AC 24 V			
消費電力	22 W			
寸法 (Ø xH)	234.6 mm x 269.9 mm			
重量	4.07 kg		4.17 kg	

LG
Life's Good